

平成23年度 第5回 二宮町男女共同参画プラン推進連絡会 会議録

1. 日 時

平成24年 2月20日（月）午後 3時00分 ～ 午後 4時30分

2. 場 所

二宮町役場 2階 第1会議室（神奈川県中郡二宮町二宮 961番地）

3. 出席者

- ・二宮町男女共同参画プラン推進連絡会委員
高橋会長 飯島副会長
小林委員 原委員 西山委員 伊藤委員 池田委員
田辺委員 高見委員 井上委員
- ・事務局（二宮町政策部企画財政課）
秋澤課長 林班長 山口主任主事
- ・傍聴者希望者
なし

4. 議 題

- (1) 第2次 にのみや男女共同参画プラン（素案）について
- (2) 推進連絡会による推進活動の検討について
 - ・地域組織への出前講座
- (3) 次年度のスケジュールについて
- (4) その他

【説明等】

- ・ 「プラン構成（骨子案）」をベースに肉付けを行った「素案」には、「将来像」のスローガンやアンケート結果等いただいた意見を反映してある。「基本理念」や「基本方針」については、オリジナリティが強く、「計画期間」についても当初の「策定方針」とは変更してある。
- ・ 具体的な施策については、来年度から所管課と調整していく。
- ・ 「出前講座（緑が丘サロン）」の役割分担を事務局で振り分けさせていただいた。必要な資器材等は事務局で準備しておく。
- ・ 次年度もプランの策定作業と推進活動を進めていく予定でいる。
- ・ 「自主的な男女共同参画推進組織の設立（育成）」については、次期プランの中にも位置付けて行っていきたいと思うが、「自主的」なものなので核となる人間がいなければ実質的には機能しないと思われる。

- ・ 任期が満了してしまうと折角学んでいただいた知識や経験が推進活動に活かせていない状況にあり、新たな委員を募り裾野を幅広くしていくことも重要ではあるが、より深く複雑な推進を行うにはどうしても限界がある。歴代の委員経験者でOB会を組織する等、知識の継続がなされると良いが、ご負担を強いる訳にもいかず、悩ましいところとなっている。何か良いアイデアがあればご意見いただきたい。
- ・ 会議として皆さんにお集まりいただくのはこれで本日が最後となる。来年度からの委員構成は未定だが、継続してお願いすることになった際は、引継ぎ等についてもよろしく願います。
- ・ 連絡用名簿の取扱いについては、個人情報が含まれているので、任期の満了をもって廃棄いただくことになる。
- ・ これまで多くの推進活動にご協力いただけたこと感謝する。今後も町の男女共同参画の推進のため、ご理解とご協力を賜りたい。

【意見等】

- ・ 将来像のスローガンについては、素案に示されているもので決定なのか。意見を出すのを忘れていたが、「女も男も自分らしく暮らせる（自分らしさを活かせる）まち…」といったスローガンを思いついた。→素案に示した将来像は、期限までにいただいたスローガンを入れさせていただいたものなので、これで決定ということではない。本日の場でご議論いただき決定していければよいと考えている。
- ・ 素案でまとめられた「基本理念」や「重点目標」はよくできていると思う。これまでの2年間、委員を務めて思ったことだが、男女共同参画のムーブメントを起こせるかどうか推進の要になるように感じられた。「これまで推進してきたもの」と「今後新たに推進していくもの」が同じでは進歩がないが、男女共同参画は少しずつ進んでいくものなので、これでよいと思う。
- ・ P2の「社会環境の変化と町の現状」の人口推移と推計のグラフについて、要素の単位が示されていない。→仮のデータで示しており、プランが決定する際の最新のデータを入れる予定でいる。「千の単位」で「人数」をあらわす予定でいる。
- ・ 二宮町らしいオリジナリティのあるスローガンがよいと思う。
- ・ 「長寿の里」のイメージがあるので、「老若男女が仲睦まじく」等、その点をスローガンに盛り込んでみるのもよい。
- ・ 「老若男女が」ということは、すなわち「誰もが」ということでもあるように感じられる。

- 施策の話にもなるが、二宮町が行っている「地域への出前講座」は他の自治体からみてもとても積極的な取り組みと思う。
- 「長寿」であることがいけないわけではないが、アンケート結果でもニーズの高い、実際に保育等のサービスを求めている「若い世代（生産年齢）」の活気を高めることも必要ではないか。その面でも基本理念の一つである「支援の充実」は重要になってくると感じられる。
- 高齢を迎えた世代は、その豊かな人生経験を活用して若い世代のサポートができるとうい。
- 町の財源である収入を考えると「長寿の里」をシンボルに高齢者を集めるよりも、稼ぎ手である若い世代を増やしていくための施策が必要となる。町の特色が「長寿」であっても稼げていけばよいのだが難しいところと思う。
- 以前までの連絡会でも意見が出されていたが、「高齢者」の活力を、「子育て」に活かすことができれば、ニーズにも適った効率的な「保育サービス」ができるのだが、預かり時の責任等、法律や安全面での問題が課題となっている。
- 「共に創る」という表現の方が「支え合う」という表現より「男女共同参画」に近く感じる。
- 自主的な組織をつくることはよい試みだが、「男女共同参画」は他の具体的な目標を持った組織と比べ、漠然としておりゴールが見えないため、人を集めにくいと感じる。明確なゴールがないと最初のうちはよいが、やがては尻つぼみになってしまうのではないかと思う。
- 組織が継続していくためには、その構成員に「活動を楽しんでいると感じられるような要因」か、「危機感（使命感）」といった動機が必要となる。子育てのNPOを行っているが、終了後の打ち上げや人と人とのつながりで参加している人も多い。
- 神奈川女性会議には、地域社会の中の様々な方が使命感をもって参加されている。海老名市で自主的な活動を行っている団体もある。
- ここで言う「自主的な推進組織」とは、男女共同参画に関わる様々な活動を行っている各種の団体をコーディネートするような組織を言っているのか。→特に決まってははいない。組織そのものが推進してもよいし、コーディネートすることでもよいと思う。「料理教室を開催する団体」や「講演会を開催する団体」等、男女共同参画に関わる一端を担う活動を行う団体も広い意味では推進組織と言える。
- 町と対等な立場に立って、自主的な活動を行い、時に連携・協力できる組織が望ましいと思う。

- ・ 韓国では「料理のできるお父さんは好き」等、やわらかく、キャッチーな表現で男女共同参画を進める動きもある。楽しみながらコミュニケーションが取れるような活動ができるとよい。
- ・ 保育園に入園する園児の保護者を対象にした「先輩ママの初めての保育園（フォーラム）」等も人気がある。
- ・ イメージが付きにくい分野でもあるので、具体例等があるとよいかも知れない。

5. 決定事項

- ・ 平成23年度 第5回 二宮町男女共同参画プラン推進連絡会の公開の決定。
- ・ 「第2次 にのみや男女共同参画プラン（素案）」の検討継続
 - ※ 「将来像」については、本日の意見も参考に練り直す。
 - ※ 具体的な施策等については「基本理念」や「基本方針」をもとに次年度も継続的に検討する。
- ・ 男女共同参画出前講座の役割分担の決定。
 - ※ フリートークの際は、「災害時における女性の視点」等、啓発の内容や主旨を理解して、意識の普及に努める。
 - ※ 会場の隣にある温水プール（休館日）の駐車場が使用できるか確認し、車で現地に向かう予定の委員に伝える。
- ・ 推進連絡会による推進活動の実施検討の継続
 - ※ 予算がない「一般町民を対象とした講演会の実施」以外の取組みについては継続的に検討し、できるものについては実施していく。